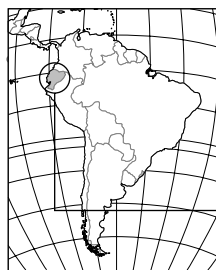


# ユニセフ 子ども物語

## 地球に生きる子どものくらし

Republic of Ecuador

### エクアドル共和国



## アイベスと ヴィヴィアナ



可愛い花柄のワンピースを着て、髪をポニーテールに結ったアイベスは5歳の女の子。近所の幼稚園に通うのが大好きで、家に帰るとお母さんとお父さんに、幼稚園での出来事を目をきらきら輝かせながらお話しします。アイベスの家の近くに住む5歳のヴィヴィアナは、いつも同じ青い服を着て髪もとかしていないのでぼさぼさです。幼稚園に通っていないため、よく家の前に寂しそうに座って通りを眺めています。

幼稚園からの帰り道に見かけるヴィヴィアナのことが、アイベスはとても気になる。ある日アイベスは思い切って声をかけてみました。「こんにちは。あなたは幼稚園に行かないの？先生と歌いながら踊ったり、おともだちとお昼やおやつを食べたり、とても楽しいよ」でもヴィヴィアナはぼんやりとアイベスを眺めるだけで黙っていました。



アイベスは幼稚園の先生にヴィヴィアナのことを話しました。ヴィヴィアナが心配になった先生は、彼女の家を訪ねると約束してくれました。数日後、先生は幼稚園の仕事が終わってからヴィヴィアナに会いに行きました。見知らぬ先生の訪問にヴィヴィアナは少し驚いたようでしたが、またいつものように静かに通りに視線を戻しました。先生は両親のことや兄弟のことをたずねましたが、ヴィヴィアナは恥ずかしそうにうつむいて答えくれません。



しばらくしてヴィヴィアナの両親が畑仕事から帰ってきました。先生は両親に日頃の彼女の様子や、誰が世話をしているのかをたずねました。でも両親は畑仕事にいそがしく、お姉さんとお兄さんも畑仕事や家事の手伝いに追われて、誰も日中ヴィヴィアナの面倒をみていないという答えが返ってきました。お父さんは「ヴィヴィアナはとても物静かな子で、ひとりであるのが好きな子なんだ。いたずらもしないし、家で留守番させていても安心だ」と言います。

同じ年頃の子どもに比べて、表情が乏しく体格も小さいヴィヴィアナには、幼稚園でたくさんのおともだちと触れ合い、適切な食事をとることが必要だと感じた先生は、両親に彼女を幼稚園に連れてくるようすすめました。はじめは関心を示さなかった両親ですが、先生の熱心なすすめに応じ、翌週からヴィヴィアナを幼稚園に通わせることになりました。

幼稚園に通い始めても、ヴィヴィアナは少し戸惑ったような表情をして、おともだちからも離れて過ごしていました。ある日お絵描きの時間に家族の絵を描くことになりました。アイベスは、お父さんとお母さん、おばあさんにお兄さんやお姉さん、自分も含めた7人家族の絵を、いろいろなクレヨンを使って楽しく描きました。

先生がふとヴィヴィアナの絵を見ると、灰色のしずくが描かれていました。先生が「これはだあれ？」とたずねると、小さな声で「お母さん」と答えが返ってきました。



しばらくして、アイベスとヴィヴィアナの通う幼稚園にユニセフの人がやってきました。先生やお母さん、お父さんが集まって、会合が開かれました。ユニセフの人は、子どもが小さい時に十分な栄養のある食事をとっていないと、体や脳の発達に悪い影響を与えることを説明しました。また、乳幼児期にお母さんやお父さんからたくさんの愛情を受けないと、子どもは自分に自信を持つことができない、というお話もありました。

ヴィヴィアナのお母さんとお父さんは、会合のあと幼稚園の先生からヴィヴィアナが描いた家族の絵を見せてもらいました。二人ともその絵にとっても驚きました。お母さんは、「朝から晩まで畑仕事に忙しく、夜も疲れてヴィヴィアナにまったくかまっていませんでした。ヴィヴィアナをもっと抱きしめて、もっと一緒にお話をします」と先生に約束しました。お父さんも、「私たちの暮らしはとても貧しくて、日に2度食事をとるのが精一杯なのです。それにお肉やお魚は高く、月に数回しか食べることができません。でもこれからは、もっといろいろな食べ物を食べさせるようにしよう」と決心しました。



数ヶ月して、また幼稚園でお絵描きをしました。先生が「好きな人や好きなことの絵を書いてみましょう」と言うと、ヴィヴィアナは嬉しそうにクレヨンを手に紙へ向いました。先生が見てみると、ヴィヴィアナが家族みんなに囲まれて楽しそうにお食事をしている絵でした。「よかったわね、お母さんやお父さんとおいしいごはんを食べているのね？」と先生がたずねると、ヴィヴィアナは「うん。おねえちゃんやおにいちゃんも一緒よ。みんなでたくさんお話ししながら食べるの」と目をきらきら輝かせながら答えました。

(文・構成：日本ユニセフ協会)

エクアドルの貧しい家庭では、多くの両親が農業、狩猟、漁業など、家を空ける時間の長い仕事に従事しています。そのため、年齢の大きな子どもが小さな子どもの面倒をみています。大人が付き添っていないので、適切なケアや食事が与えられていない子どもが多く、例えば食事の場合、回数や食物の量、食品のバランスが不適切です。これは、両親の衛生や栄養に関する知識が不足していることに原因があります。また、社会的・経済的格差が広がっていることにより、教育や食事に家計を費やす経済的余裕がなくなった家庭の子どもが厳しい状況に置かれています。



©UNICEF/Horner/Ecuador

エクアドルのアマゾン地域における子どもの発達状況を調査したユニセフのジメネス博士は、5歳以下の子ども、特に貧しい家庭の子どもの発達は深刻な状況にあると報告しています。モロナ・サンティアゴ州スクア郡の人口10,996人のうち、5歳以下の子どもは2,500人です。その20%にあたる489人のみが、幼稚園や幼児開発センターなどに通っており、残りの80%



©UNICEF/Jeremy Horner

の子どもたちは何のケアも受けていません。運動能力や言語能力の発達状況は、子どもたちの住む地域に応じて異なります。都市部に住む子どもたちの38%は発達が遅れており、農村部の子どもたちになるとこの割合は50%まで上昇します。栄養状態に関しては、都市部の子どもたちの46%、農村部の子どもたちの51%が栄養不良に直面しています。

スクア郡に住む606人の生後1ヶ月から5歳までの子ども606人を対象に行った調査によると、幼稚園や幼児開発センターに通っている子どもの方が、通っていない子どもより発育や発達がよい、との結果が出ています。ジメネス博士はこの調査結果を踏まえて、ECD (Early Childhood Development=早期幼児開発) は感情的・心理的な発達を促すため、州政府がECDに積極的に取り組む必要があると訴えています。これは子どもの健康、栄養、適切なケアなどの家族を対象とする教育プログラムを含みます。

#### ECDの定義

ECDは出生時から8歳になるまでの子どもとその親や保護者のための政策とプログラムに関する包括的なアプローチを指し、子どもがもって生まれた認知的、情緒的、社会的、身体的能力を十分に伸ばす権利を守ることをめざしています。ECDには乳幼児のニーズを満たすためのコミュニティーを中心としたサービスが不可欠で、サービスは家庭とコミュニティーでの保健、栄養、教育、水と環境衛生への配慮を含むものでなければなりません。こうしたアプローチは幼い子どもの生存、成長、発達の権利を守り、強化します。

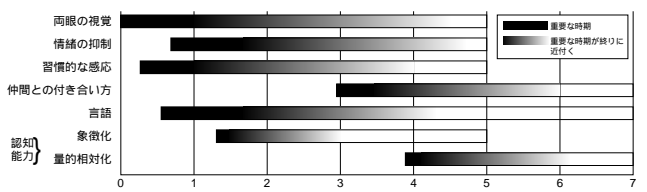
出典：ユニセフ「世界子供白書2001」p.15

## 幼い子どものケア



脳の発達は子どもが3歳の誕生日を迎えるまでにほぼ完了します。栄養や健康、きれいな水、暴力や虐待、搾取や差別のない安全な環境に加え、親や家族、まわりの人びととの経験や対話が子どもの脳の発達に影響を与えます。生後36カ月までの間に、信頼感・好奇心・志向性・自制心・関係の構築・意思疎通や協力の能力などが形成され、青年期や成人期の性格を左右するのです。人生ののちの段階で基礎的な能力を伸ばすことは可能ですが、より大きな努力とより長い時間が必要となります。

#### 脳の発達：重要な時期



出典：M.マッケーンとF.マスタード「真の頭脳流出をなくす：幼少期研究」オントリオ1999年4月 p.31

ユニセフは困難な状況にある子どもたちの状況を改善するために、政府がECDに取り組むよう提唱しています。政府のECDへの投資は、子どもたちが健康に育ち、その能力が高められて国を貧困から開放し、所得や教育や機会の不平等をなくす事につながるのです。幼い子どもが必要とする基礎サービスは、保健や栄養、安全な環境など複数の分野にわたっているため、各部門を横断する総合的なアプローチが必要です。そのため、政府は地方組織やコミュニティーとの間にネットワークを築いてサービスの幅を広げる必要があります。



©UNICEF/Roy Witlin

例えば、エクアドルではECDプログラムが導入されてから、幼稚園や幼児開発センターのスタッフを対象とするトレーニングが、社会福祉保健省とユニセフによって行われています。スタッフは、栄養不良が子どもの発達にどのような影響を与え、子どもの自尊心を傷つけ、言葉と運動能力の発達を遅らせ、発達の可能性を阻害するかを学びます。子どもへの接し方、適切な食事の作り方、応急処置の方法、病気の見分け方なども習得します。また、黄熱病とB型肝炎の予防接種キャンペーンも、保健省と郡の担当部署によって実施されています。ユニセフの調査によると、2001年11月に全国で行われたキャンペーンでは、85%の子どもたちが予防接種を受けました。



©UNICEF/Roy Witlin

すべての子どもがよりよい状態で人生のスタートを切り、持って生まれた能力を発揮することによって、社会的状況・経済的状況が改善され、次の世代の子どもたちに明るい未来をもたらすこととなります。ユニセフは、少しでも多くの各国政府や地方組織がECDに取り組むよう活動を続けています。

参考文献：世界子供白書2001「幼い子どものケア」  
 Marcelo Cevallos "Assessing the status of child development in Ecuador's Amazon region" (November 30, 2001)UNICEF  
 Marcelo Cevallos "Ecuador's Shuar mothers lavish care in child development centers, amid harsh realities" (November 30, 2001)UNICEF  
 UNICEF "Rainforest schools project: Boosting education and health levels in Ecuador's Amazon area" (November 30, 2001)